

現状及び改善点

【現状】

- 利用者の割合は、70歳以上が多い状況である。(資料1参照)
- 改善してほしい点としては、利用者及び登録者共に、予約時間の変更・運行日の増・運行時間帯の延長という意見が多く見られた。(資料2参照)
- 求められている交通形態としては、利用者については、現行のももたろう号と答えた方が最も多く、登録者については、タクシー運賃の一部補助と答えた方が最も多く見られた。(資料2参照)

**【改善すべき点】**

- 実利用者は365人で、人口に対して1.1%の割合であることから、一部の住民の為の制度となっている。又、実利用者365人の内、70歳以上の利用者が264人となっている。
- これらのことから、公共交通の確保や移動制約者の足の確保を踏まえて、これからの交通政策としては、日常生活と日々の暮らしを楽しんでもらえるような交通環境の整備が必要となってくる。

**【改善案】**

- 現状や改善点をふまえ、予約を取りやすくし、運行日や運行時間も拡大できる施策として、高齢者や障害をお持ちの方、妊娠されている方、子育て中の方など、真に移動支援を必要とする方々を対象とした、通常タクシーの初乗り運賃を助成する事業の制度化。これにより、本当に支援が必要な住民に広く利用してもらえ、町内から町外へ、又、町外から町内への移動も可能となり、利便性が向上すると考える。